



新上五島町

五島市



**鯨賓館ミュージアム**  
有川港多目的ターミナル鯨賓館内にあり、新上五島町の捕鯨史などを紹介しているほか、郷土出身者である建築家・鉄川与助や第50代横綱佐田の山関についても紹介しています。



**頭ヶ島天主堂**  
世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「頭ヶ島の集落」にある石造りの天主堂です。鉄川与助の設計・施工で、信徒たちの労働奉仕のもと、近くの石を切り出して1919年に完成しました。室内はツバキを思わせる装飾が印象的で「花の御堂」とも呼ばれています。



**青砂ヶ浦天主堂**  
潜伏キリシタンが住み着いた青砂ヶ浦集落に3代目の教会堂として1910年に建立され、2001年に国重要文化財に指定されました。鉄川与助設計・施工によるもので、信徒が総出でれんがを運んで完成させました。



**蛤浜海水浴場**  
遠浅の白い砂浜の先にエメラルドグリーンの色が広がる海水浴場です。環境省の「快水浴場百選」の一つにも選定され、夏場は、休憩舎や更衣室、シャワーなどの設備も整っています。



**海童神社**  
クジラの顎の骨でできた鳥居が立つ、捕鯨で栄えた有川を象徴する神社で、頂上に恵比寿様と龍神様が祭られています。



# つたえるけん 新上五島町

東京から移住した26歳の若者は、やりがいのある仕事に恵まれ、楽しい仲間とまちおこしに取り組みながら、上五島の魅力を発信中です。

今月のつたえるひと **原知也さん**  
2016年、大学卒業と同時に22年間住んだ東京を離れ新上五島町に移住。町の嘱託職員として2年半勤務後、五島灘酒造に転職。有川神楽や捕鯨にゆかりのある伝統芸能の弁財天祭り、ひよっこ踊りなど、地域のイベントやまちおこしにも積極的に参加している。

## 上五島は自然以上に “人”が魅力的なまち

今思えば、小学生の頃、東京で満員電車で揺られながら、「おじいさんになつたら海の見えるまちに住みたいなあ」とぼんやり思っていたんです。その後、東日本大震災が生き方を見つめ直す大きなきっかけとなったほか、大学で環境のことや地方のことなどを学んだことで、移住したいという思いが次第に強くなりました。全国をあちこち回っている中で、移住候補地としてご縁があったのが新上五島町。蛤浜海水浴場を見た瞬間、あまりにもきれいで、11月なのに家族全員はだしになって海に入りました。子どもがいるので、島内に高校まであるという教育環境も移住の決め手になりましたね。

いざ住んでみると、移住者や地元の人を含めて、専門的な知識を持った方やものづくりが上手な方、島を盛り上げたいという元気な方もたくさんいて、“人”が魅力的なまちだと思いました。現在、私が参加している「ダガスル・オガスル」というまちおこしグループでは、飲食店と生産者がコラボした飲み歩きイベントや寿司の食べ放題イベントなどを開催してきましたが、さらに今年は新型コロナウィルスの影響で売上が落ち込んだ飲食店を支援するため「上五島エール飯プロジェクト」

## 新上五島町の特産品

**芋焼酎「五島灘」**  
町内で生産された甘藷(黄金千貫)のみを使用し、黒麹や白麹で仕込まれた焼酎や、自社栽培した紅さつまを使用して仕込まれた焼酎などが人気で、どれもイモの風味や旨味が生きた味わい深い焼酎です。



問合せ：五島灘酒造(株)  
☎0959-42-0002

**表紙のはなし『矢堅目の岩』**  
奈摩湾入口にあり、円錐形の奇岩と複雑な海岸線が特徴の上五島を代表する景勝地です。対岸の白草公園から矢堅目の岩越しに夕日が沈む風景も人気があります。

## 一足早いクリスマスを上五島で チャーチウィーク in 上五島

クリスマスを前にライトアップされる教会。その厳かで美しい風景は「日本夜景遺産」にも認定されています。期間中は島内6つの教会でプロの音楽家によるクラシックコンサートも予定されています。



点灯期間：12月初旬から約1カ月  
場 所：新上五島町内の教会  
問 合 せ：☎0959-42-0964  
(新上五島町観光物産協会)  
※コンサートは中止になる場合があります

## 全国的にも珍しい伝統行事 銭まき行事

立串地区に江戸時代末期から伝わる伝統行事で、厄年や還暦、米寿などを迎える人たちがお金をまいて、人々に拾ってもらうことで厄を落とし、長寿や幸せを祈るというものです。毎年福にあやかるうとする人たちが賑わいます。



開催日時：2021年1月2日(土) 9時～  
場 所：乙宮神社(新上五島町立串郷)  
問 合 せ：☎0959-42-0964  
(新上五島町観光物産協会)

「誰がする？私がする」の意味  
地域の魅力は、そこに住む一人一人が楽しく暮らしていること。笑顔で「このまちはいいよ」と発信することが一番のPRになると思います。豊かな自然や世界遺産、特産品など、上五島には全国に知られていない魅力がまだまだありますので、これからもSNSやイベントを通して情報発信していきます。

「ト」を立ち上げ、テイクアウトやデリバリーを広める活動なども行っています。勤務先の五島灘酒造は上五島唯一の酒造メーカーで、地元の畑で生産した良質の芋だけを使って本格焼酎を造り、信頼関係を築いた酒販店に販売を行っています。これから12月にかけて仕込みの時期に入りますが、自分たちの手でこだわって造った焼酎を全国の人に飲んでいただけることに喜びとやりがいを感じています。